



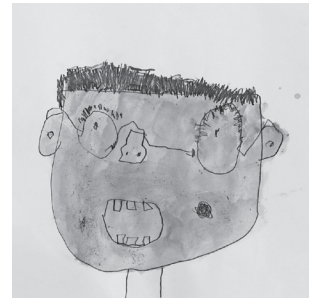
会報
No. 84

鹿私幼だより

(一社) 鹿児島県私立幼稚園協会 発行人／上原樹縁 編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号(プロパングス会館5階502号室) TEL099-285-6688 / FAX099-285-6689
ホームページ <https://muzoca.net> E-Mail jimukyoku@muzoca.net Instagram @muzoca_kagoshima

幼児教育・保育に 携わる者として

鹿児島県私立幼稚園協会
副会長 三 木 隆 朋



少子化の波が打ち寄せ、押し返す方法も見つかりません。

鹿児島県の年間出生数は、令和元年から令和4年の間に12%も減少しています。私の園のある自治体は29%の減少です。令和5年はさらに減少が進むことが分かっています。これらは、私たちの想像をはるかに超えています。現在私たちの前にいる子ども達はどんな世の中を生きていくのでしょうか。これからを見据えた日々の保育を再考しなければならぬと感じています。

昨年の夏、教育における科学的根拠の講演を拝聴しました。大変興味深く考えさせられることばかりでしたので、その後私なりに教育におけるデータを調べてみました。いろいろとあったのですが、その中から2つの事柄を挙げてみます。

まずは「子どものもともとの能力（例えば頭の良さ）を褒めると、子ども達は意欲を失い、成績が低下する。」ということです。もちろんしっかりとした理由があるのですが、ここで紹介するには、ボリュームが多すぎるので、次の機会があればと思います。

このデータを分かりやすく図式化してみると

努力を誉められた子 > 能力を認められた子
子どもに掛ける言葉で表してみると

あなたは良く頑張ったのね >
あなたは頭がいいのね

となります。

私たちは子どもを褒める時によく「すごいね」と声を掛けます。驚くほど優れているということなのでしょうが、取り敢えずこうっておけば大丈夫という意識があるのかもしれませんが。それはそれで悪いことではないのですが、乳幼児期の子

ども達という私たちは、「すごい」という抽象的な表現ではなく「〇〇ができたんだね。きれいだよ。」「こうしてあげたんだね。偉かったね。」と行動や現象を具体的に伝えてあげること、さらに能力ではなく過程を認めてあげることの大切さに気付かされます。丁寧な言葉・表現を心掛けたいものです。

次は一番気になったことなのですが、「保護者の利便性が高いと評価された園は、保育の質が低い」というデータもあるということです。保護者の要求に応え変化していくことは大切なのですが、その変化は「子どものため」になっているのでしょうか。保護者からの高評価を得たい気持ちは分かります。しかし、それが「子どもの健やかな育ち」の邪魔をしているのなら本末転倒です。親を敵に回すようなことは怖いことかもしれませんが、幼児教育に携わる理事長・園長をはじめ幼稚園教諭・保育教諭は、子どもの最大の理解者であり代弁者でありたいものです。

最後に、私たちは子どもの貧困・格差や虐待・家庭の孤立など多くの問題を抱えています。スタンフォード大学のハヌシェク教授(Hanusheku)は自らの研究の中で「遺伝や家庭の資源など、子ども自身にどうしようもない問題を解決できるポテンシャルを持つのは『教員』だ。」とされています。私たちは子どもの人生を変えられるかもしれない場にいるのです。我々の仕事に責任感と少しの誇りを持ち、子ども達のため優しさをベースにできることから始めましょう。

令和6年度本当にご苦労様でした。新しい年度が始まります。

素敵な1年でありますように！

令和6年度の各種研修会を振り返って（報告）

Ⅰ 令和6年度の活動を振り返って

令和6年度の協会が開催する各種研修会は、計画されたほとんどの研修を対面で実施することができたことから、参加者からも好評の声を聞くことができた。特に7月の県大会全体会を5年ぶりに全て対面で行うことが出来て、感慨深いものがあった。

1 若手教員スキルアップ研修会

4月3日に第1回、12月25日に第2回を両日とも対面形式で実施した。昨年まで「新規採用教員研修会」と冠して行っていたが、研修スタンプ発行の関係で、初任のみならず2、3年目くらいの先生方まで対象を広げて開催。若手教員に限定した研修会は比較的小さいので、新たなニーズに気づかされることだった。

2 主任等研修会

6月21日に対面とオンラインによるハイブリッド方式で実施した。3つの講話においては、県人権同和教育課、鹿児島中央警察署、鹿児島市立病院の先生にご協力をいただき、それぞれの立場から、多くの示唆をいただいた。また鹿児島幼稚園の山木主任より、園内でのつなぎ役としての立場からのお話もお聞きすることができた。

3 第63回鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会 大隅大会

天候にも恵まれ7月21日、22日の2日間を予定通り行うことができた。今回は大隅支部が担当ということで、鹿屋市内を中心に志布志市、肝付町、錦江町の11園が分科会場園として会場提供と公開保育を担ってくださった。2日目は垂水市文化会館でオール対面での全体会を実施。講演の門田理世先生（西南学院大学）のお話にもひととき熱意を感じることであった。

4 土曜研修会

7月27日オンラインで実施。3名の講師による60分ずつの講話は、それぞれ濃密な内容で、時間があっという間に過ぎてゆくような感覚であった。

5 第25回乳幼児教育・保育実践講座

8月9日マリンパレスかごしまで開催。職場での同僚性（マネジメント分野）、特別支援教育、安全管理について3名の先生方からご講話をいただくことができた。

6 マネジメント研修会

10月22日と2月4日の2回実施、広範囲

なマネジメント分野ではあるが、人材育成、同僚性、専門性の醸成、ストレスマネジメントといったテーマで計6時間の受講機会となった。

7 保育教諭等研修会

県からの委託事業として11月11日に開催。アタッチメントと絆を深める声かけのスキル、メディアリテラシー、乳幼児の病気・ケガの初期対応といったテーマで研鑽を積むことができた。県子育て支援課の方も終日同席くださり、内容を確認していただくことができた。

8 第28回幼稚園等教育改善研究会

1月21日に対面形式で実施。インクルーシブ保育の実践と保護者支援について学んだ後、2園の事例発表、その後設置者・園長部会、教諭部会に分かれて学びを深めた。研修会の終了後、情報交換会として親しく懇親の時を持つことも出来て、充実した一日となった。

9 特別支援スキルアップ研修会

2月26日かごしま国際交流センターで実施。ABA（応用行動分析）の理論から子どもの個性や行動の捉え方を学ぶことができた。

10 各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックでは、教育研究部員を中心に企画・運営され、講師を招聘するなどして年間計画に基づいた充実した研修が実施されている。それぞれの地域の課題に即して適切な研修を実施していることが、教育研究部会で報告された。

Ⅱ 令和7年度に向けて

県協会の改選期、新任委員長で周囲にはご迷惑をおかけすることも多かったことと反省するものである。また新たに専門委員に加わって下さった先生方もおられ、担当する研修会の企画、運営に迷うことも多かったことと推察される。しかしながら毎回サポートしてくださる担当の教育専門委員、事務局の長命さん、鹿児島市主任会の先生方、また毎回出席くださる上原会長、橋口副会長のお支えによって、1年間の事業を滞りなく終えられたことに感謝と共に安堵している。次年度も6年度に沿った形で研修計画を推進していく予定だが、それぞれの研修会の対象、研修目的を今一度明確にして、より効果的な学びにつなげられるよう努めていきたい。今後とも会員の皆様方のご協力をお願いしたい。

活 動 報 告

令和6年度に取り組みました活動については以下の通りです。

- ① 政策振興委員会の実施（オンライン）
- ② 公明党鹿児島県本部との政策要望懇談会で要望説明
- ③ 第12回自治体役員交流研修会熊本大会に出席
- ④ 自民党鹿児島県支部連合会との意見交換会で要望説明
- ⑤ 九州地区会合同会議で九州沖縄の政策担当者と協議
- ⑥ 鹿児島県知事への要望の陳情
- ⑦ 公明党鹿児島県本部の新春政経懇話会に出席
- ⑧ 自民党県議団私学振興等教育問題調査会との意見交換会に出席
- ⑨ 令和7年度自治体役員交流研修会鹿児島大会開催内容の検討

今年度の要望の内容については次の通りです。

- (1) 私立幼稚園等の「経常費補助金」及び各種補助金について
経常費補助金を国の予算措置に応じて、また各種補助金についても現状の堅持と可能な範囲での増額をお願いしました。
- (2) 幼児教育センターの設置の推進について
乳幼児に対する教育保育の質向上のための貢献が期待されるセンターの設置について迅速に設置・開設できるように強くお願いしました。
- (3) 魅力ある私立学校づくり補助金増額について
乳幼児教育保育施設としてだけでなく地域の子育て支援の一端を担う幼稚園・認定こども園を一層充実したものにするために学校運営に必要な補助金の増額をお願いしました。
- (4) 施設型給付園・認定こども園における利用定員設定について

少子化及び職員確保の困難な状況下において各市町村が単年度での利用定員変更に柔軟に対応できるようお願いしました。

- (5) 幼稚園教諭・保育教諭・保育士の更なる処遇改善について

鹿児島県内の各市町村において独自に処遇改善策を講じているところもありますが、地域間で少しでも差が無くなるよう各市町村へ前向きな対応を呼びかけることをお願いしました。

- (6) 令和7年度私学助成園における処遇改善事業について

私学助成を受ける幼稚園の職員処遇改善（処遇改善加算Ⅲ）において、事業者の負担分が無い認定こども園や保育所と同様の対応を推進してもらうようお願いしました。

- (7) 少子化対策としての保護者負担軽減の更なる推進について

鹿児島県内の各市町村において独自に3歳未満児の保育料無償化を実施しているところもありますが、県内の各市町村が一層取り組みを推進してもらうよう地域の状況やニーズを調査して政策を取っていただくようお願いしました。

- (8) 地域間格差是正のための公定価格における地域区分の取り扱いについて

公定価格の地域区分について人材確保や物価水準の観点などから、全国における鹿児島県というマクロな視点と鹿児島県内における島嶼部を含めたミクロな視点の両面からの検討の推進をお願いしました。

次年度も国の動向を注視しながら、園運営や職員の処遇改善、保護者のニーズに応じた政策等を県や各市町村に要望できるよう取り組んでいきたいと思います。

活 動 報 告

令和6年度から始まった2カ年の1年目、令和6年度に計画した主な活動は以下の通りです。

- ① 令和5年度財務状況調査及び分析
- ② ライカ南国ホールでの合同就職説明会開催
- ③ 第40回全日本私立幼稚園連合会九州地区会設置者・園長研修大会 長崎大会ならびに九州地区次世代交流会開催
- ④ 全国（奈良県）設置者・園長研修大会への参加
- ⑤ 私立幼稚園4団体教育交流会（鹿児島9月開

催）運営

- ⑥ 県私立幼稚園協会設置者・園長研究協議会（8月 センテラスホール）
- ⑦ 養成校連絡会（12月）

令和6年7月6日（土）にライカ南国ホールでは3回目となる対面式合同就職説明会「かごしまの幼稚園就活応援フェア」を開催しました。33の園・法人、養成校5校に参加いただき開催しました。来場者の増加や広報活動にはまだまだ課題も

多いところですが、養成校への進学者のプラスがそのまま幼保教諭の増加にもつながることを、我々幼稚園側と養成校側でより強く意識してつながりをさらに強化していきたいと思います。現在、令和7年度は会場をセンテラス天文館に移して開催できるよう準備を進めているところです。さらに多くの園・法人のご参加よろしくお願いします。

県設置者・園長研究協議会は8月にセンテラスホールにて1日のみで開催しました。9月の開催は、運動会やお彼岸と重なる園も多く、夏休み期間の開催ではどうかと検討した結果でした。また懇親会も行い、多くの先生方と語り合える場を設けることができたことは、非常に良かったと思っています。

令和6年度の4県交流会（鹿児島県主催：仙巖園ほか）には、北海道・埼玉・岐阜の先生方をお

招きし、大変暑い日でしたが鹿児島らしさを感じられる会が行えたのではないかと思います。20年近く続いたこの交流研修会でしたが、発展的縮小ということで、この鹿児島大会をもってひとまず終了の運びとなりました。

今年度からはプロジェクトKが特別委員会として独立しました。若手の先生方が柔軟な発想のもと、いろいろな研修会を企画実施してくださっています。多くの園長先生方、特に後継者の先生方に交流と学び、多くの仲間を作る場が広がるように、経営研究委員会としても協力出来ればと思います。

経営研究委員会・部会としましては、今の幼稚園の課題、特に幼稚園教諭・保育士の確保と急激な少子化に、適切な資料や研修の場の提供ができるよう活動して参りたいと思います。今後ともご協力と応援よろしくお願いいたします。

調査広報委員会

調査広報委員長 田原 慎也

活 動 報 告

昨年度に引き続き、紙媒体（ようちえんって楽しい・鹿私幼だより）・ホームページ（むぞかネット）・SNS（Instagram）の3つの媒体を軸として広報活動を実施してきました。その中でも本年度は2学期初旬に配布している「ようちえんって楽しい」を「むぞか新聞」と名称も新たに、誌面のリニューアルに取り組みました。鹿児島県の幼稚園・こども園の魅力がより伝わるように、幼稚園教諭・保育教諭の仕事の魅力や価値がもっと多くの人に届くようにという思いを込めて、ページ数も増やし、新たなコンテンツも折り込みました。

リニューアルにあたっては多くの加盟園の皆様へ情報提供へのご協力を賜りました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

リニューアルしたむぞか新聞についてのアンケート結果でも、好意的に捉えてくださったご意見・ご感想が大多数であり、鋭意取り組まれた委員・部員の先生方にとっても励みになるものでした。

●本年度の主な活動

1. 「むぞか新聞」No.35の発行
2. 「鹿私幼だより」No.84の発行
3. むぞかネットの更新やイベント案内
4. むぞかネット教研大会研究集録の掲載
5. Instagramの運用
6. 就活応援フェアの運営サポート・広報

次年度も加盟園の皆様へ情報提供を頂きながら、幼稚園・こども園の魅力発信に取り組んでまいります。引き続きご協力のほどお願い致します。

次世代(プロK)委員会

次世代(プロK)委員長 三浦 昌平

活 動 報 告

次世代（プロK）委員会は、今までプロKとして活動していた内容を引き継ぎながら、より一層次世代の先生方のつながりをサポートしていくように、今年度から新たに委員会として発足致しました。初年度で手探りの状態でしたが、委員の先生方のご協力のおかげで実りある活動を行うことができました。

- 1 九州地区次世代交流会（長崎大会）への参加
- 2 プロKラボ（プロK主催の研修会）

第1回 8/22（木）地域や自園を分析して見えてきたこと（興水先生・福丸先生）

第2回 11/19（火）トップリーダーとしての組織マネジメント（阿部能光先生）

第3回 予定 マネジメントの理想と現実（堀之内先生・三浦）

このような研修会を開催しながら、加盟園の先生方と現状・悩み・解決策を共有し、それぞれの園で実践し、また皆さんへフィードバックしていただけるように来年度も活動していきたいと考えています。研修会の企画立案は、プロKのメンバーで行いますが、研修会等にはどなたでも参加していただける形で活動をしていきたいと考えています。

来年度もご協力よろしくお願いいたします。

瑞宝双光章の授与を受けて



富永 宏

(鹿児島市)

学校法人伊敷町学園
認定こども園
伊敷幼稚園
理事長

令和6年度春の叙勲において、「日本国天皇は、富永宏に瑞宝双光章を授与する。」と書かれている大変名誉ある賞を戴きました。授賞式では、代表でこども家庭庁長官より賞状を戴くという大きな役割に感激でした。また皇居での拝謁式では、多くの方々が参加されている中で、最前列の一番目で天皇陛下との最近距離(約1m)での拝謁を賜わり、言葉に表すことのできない感銘で、胸がいっぱいになりました。推挙してくださった方々を初め多くの方々に、感謝の気持ちと御礼を心から申し上げます。

振り返ってみますと、伊敷幼稚園の園長となり、「遊びを通して学ぶ」というのが幼稚園教育の根本理念であることに驚き、幼児教育の奥深さを認識することでした。遊びから何をどのようにして学ぶのか、知識の取得でなく、遊びの中にある興味・関心等の非認知能力を培うのが幼児期の教育と理解し、県・市の幼稚園協会では、幼児教育部門で先頭に立って、加盟園の先生方の資質向上と教育・保育の質向上に力を注いでまいりました。この実績が認められ受賞の栄誉に授かったのではと推測しております。

今後はさらに精進し、少子化が進むなかでの乳幼児教育の在り方を模索し、子どもの主体性をどう培うかをテーマに、先生方の教育・保育の質向上に尽力し、さらには加盟園の魅力ある園づくりに貢献していきたいと思っております。

鹿児島県知事表彰

鹿児島県私立学校教育功労者表彰を受けて



福崎 英雄

(出水市)

学校法人カトリック学園
出水聖母幼稚園
理事長・園長

今回、賞を頂いて、歴史を紡ぐと云う意味を知る手がかりを得た気がしています。これまで先輩方の様々な受賞を見てきました。そしていま自分がその舞台に立ったということに思いを馳せた時、私も幼児教育の歴史の一端を担ってきているんだという自覚を持ちました。

かつて私を幼児教育の道に投げ込んだ教会の神父様たち。投げ込まれた其処で私を叩き、伸ばして下さった現場の先生方と保護者の皆様。何よりも私を鍛えたのは幼稚園に集った子どもたちでした。何を隠そう私は子どもたちが大嫌いだったんです。しかし園で出会う子どもたちは私の鏡でした。私はそれを受け入れた時、その時、子どもたちと本気で関わって行こうという覚悟ができた気がします。幼児教育とは大人を成長させる教育機関でもあるのでしょうか。

建設現場の重機の足であるキャタピラーのように時の政治・経済・思想という土に揉まれながらもそれらを確りと踏みしめ、未来に向かって皆様や子どもたちと共に歩み、これからも歴史を紡いで行けたらと思うのです。

このたび、教育功労者表彰をいただき、心より感謝いたします。

今回の受賞は、鹿児島県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、これまで多くのご指導をくださった先輩の先生方、支えてくれた同僚、そして保護者の皆様のおかげと感謝しております。

私は1980年の幼稚園実習で子どもと関わる中で「私もここで働きたい!」と心から願ひ…あれから44年が過ぎようとしています。

鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会では、「計画と実践・記録と評価」「地域に開かれた幼稚園のあり方」「障がいのある幼児と教師や幼児の関わり」3つのテーマを研究発表させていただきました。実践記録を取ったり同じブロックの園にご協力いただいてアンケートを取ったりしてまとめ、助言の先生には何度も相談していただきました。同僚達との協力や同じブロックの先生方からのアドバイスなど多くの先生方との関わりは良き学びの時となりました。

1994年からは主任会に出席することとなりました。ブロックの主任会、県・市の主任会でも多くの刺激を受け視野を広げる事になりました。共にすごした主任会の仲間との交わりは今でも続いています。

これからも一人ひとりの子どもと同じ目の高さで関わり、思いに寄り添い、心のふるさとの存在になりたいと思います。

また、鹿児島県・市私立幼稚園協会のお働きにはいつもいつも感謝の気持ちでいっぱいです。



高木 伸江

(鹿児島市)

学校法人鹿児島めぐみ学園
幼保連携型認定こども園
めぐみ幼稚園
園長

文部科学大臣 優秀教職員表彰を受けて



川迫 美由紀

(鹿児島市)

学校法人共研舎学園
幼稚園型認定こども園
共研幼稚園
教務主幹

昨年、『鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰(教育功績)』に続き、このたび、『文部科学大臣優秀教職員表彰』というとても名誉ある表彰を受け、驚きと共に身に余る光栄と恐縮しております。これまでたくさんの方々との出会いがありご指導をいただけてまいりました。今回の受賞は、受賞に携わってまいりました県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、先輩の先生方や同僚、そして日頃より支えていただいている多くの皆様のおかげだと、大変感謝しております。

幼い頃からの夢でもあった幼稚園教諭になってから子どもたちと共に楽しい時間を過ごしてきました。現在、主幹となり、担任の時とは違うやりがいや葛藤を感じながら日々過ごしております。担任時代と変わらないのは子どもたちと直接向き合えることの喜びや目標に向かって頑張る姿やさまざまな場面での成長を間近に感じることなど、心が動かされる毎日があるということです。笑顔あふれる子どもたちの姿が私の主幹としての原動力にもなっています。

今後とも、人格形成の基礎を培う幼児期に携わることへの自覚と責任をもちながら、子どもたちにとって“遊びこそ最大の学び”となる環境を作れるよう、日々努めて参りたいと考えております。

共研幼稚園は今年度『創立100周年』を迎え、新たな一歩を踏み出す節目の年となりました。この節目の年にこのような表彰をいただいたことは、今後の自分への励ましだと思い、より一層精進してまいります。

このたびは誠にありがとうございました。

鹿児島県私立幼稚園協会 功績表彰(教育功績)を受けて



上園 香織

(鹿児島市)

学校法人善き牧者学園
幼保連携型認定こども園
谷山善き牧者幼稚園
保育教諭

このたび、鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰をいただき、誠にありがとうございます。このような身に余る名誉を賜り、驚きと共に身の引き締まる思いでいっぱいでございます。このような機会をいただきましたことは、鹿児島県私立幼稚園協会の皆様をはじめ、理事長先生、園長先生、副園長先生、先輩の先生方や同僚そして保護者の皆様方の温かいご指導やご支援の賜物だと心より感謝しております。そして多くの個性豊かでエネルギーに満ち溢れたかわいい子どもたちとの出会いがあったからこそだと思っております。

価値観が多様化し子どもを取りまく環境も日々変化する社会の中で、幼児教育の在り方について模索する毎日ではありますが、未熟な私を「先生!」と呼び慕ってくれる子どもたちの明るい笑顔や、感性豊かに日々成長していく姿に大きな喜びや感動、幸福を感じると共に保育教諭としての活力ややる気をいただいています。

今後とも人格形成の基礎を培う幼児期に携わることができることへの自覚と責任を強くもちながら、「こどもがまんなか」の理念のもと子ども一人ひとりを大切に可能性を引き出す保育に努めて参ります。また、幼稚園で出会うすべての人との縁を大切に、子どもたちの日々の成長を一番近くで感じる事ができる喜びと、感謝の気持ちを忘れずによりいっそう精進して参りたいと思います。誠にありがとうございました。

鹿児島市支部

鹿児島市支部は鹿児島市私立幼稚園協会として活動しているが、令和6年度は役員改選にて正副会長が交代し事務局も新補助員を迎え2名体制となり、新規体制で活動に取り組んでいる。これまでの事業を継続しつつ、時流により改善すべきものは検討を重ね見直し等実施しているところである。なかでも、毎年恒例の鹿児島市への令和7年度助成要望を「提言」と「助成要望」の2つの構成として「提言」に市協会の理念を表記し、鹿児島市のこども達のための最善な環境作り事業として「幼児教育センターとの設置」を提示して取り組んでいる。

<各委員会活動内容>

1. 総務委員会

- (1) 「すくすくnetだより」の発行
- (2) 私立幼稚園・認定こども園「ガイドブック」の作成・配布
- (3) 処遇改善加算Ⅱの修了履歴の取り扱いの確認
各委員会と連携・共同して事業等の円滑な運営の為活動している。

2. 政策委員会

- (1) 市長等への要望書提出
市長・市議会議員・こども未来局局长・保育幼稚園課・教育長

要望項目(★重点要望)

- ★1 民間保育士等処遇改善補助金の継続と施設型給付を受ける幼稚園及び私学助成の幼稚園への拡充
- ★2 「鹿児島市私立幼稚園等運営費補助金」の継続について
- ★3 「満3歳児長期休暇預かり保育人件費」の補助拡充について
 - 4 保育者確保 復職者支援の充実について
 - 5 現在の環境変化に対応した新補助制度について
 - 6 ICT導入についての補助金について私学助成園などへの類型を問わない活用への配慮
 - 7 特別支援・医療的ケア児受け入れ拡大等に対する更なる支援について(専門職者の雇用等)
 - 8 市単独で幼児教育センターを創設の検討について(保育の質向上と園の相談・教職員の相談など心理ケアのできる場)

- (2) 市私幼PTA連合会との連携
- (3) 市医師会・幼稚園協会・保育園協会との懇談会
- (4) 市議振興議員会の創設(本年度16名)

3. 経営研究委員会

- (1) 理事長・園長会議及び理事長・園長全体研修会
令和6年8月26日(月)
会議:①令和7年度園児入園案内・募集について
②入園料・保育料・初任給
③園児募集広報活動
④ガイドブック

研修:講演「令和時代を生きる
保育職希望者の感覚や価値観」
講師 鹿児島国際大学 福祉社会学部
准教授 福島豪先生

- (2) 経営研究委員会 令和6年11月7日(木)
- (3) 令和私学塾準備会 令和6年11月26日(火)
開催予定・会費等について検討審議
- (4) 理事長・園長・後継者研修
令和6年12月18日(水)
第1部 講演:「組織マネジメントについて」
Acubu(株) 代表取締役社長
大坪潤次氏
第2部 講演「カスタマーハラスメント等の対応について」
講師:弁護士法人グレイス
弁護士 大武英司氏

4. 教育研究委員会

- (1) ブロック研修会の取り組み
年間計画に沿って外部講師を招致するなど質の高い研修が行われている。

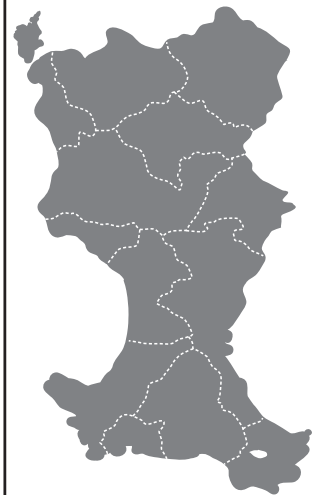
「制作・造形遊び」「わらべ歌」「読み聞かせ」etc.

- (2) 市主任等研修会の取り組み
年間5回
4/11(木) 指導講話「主任としての心得」
講師:鴨池幼稚園 義永淳子先生
他、年間計画に基づき開催している。
(4/11・7/2・8/6・9/3開催 2/27予定)
- (3) 第24回「絵本に親しむ活動」発表会の開催
令和7年1月28日(火)予定
「絵本に親しむ活動」企画委員会
(10/17・11/21・12/12開催)
- (4) 市私立幼稚園協会・市教育委員会主催研修会への参加
①幼・保・小連携研修会(市教委主催)
②市公私立幼稚園保育研究会(市私立幼稚園協会主催)
③理事長・園長・後継者研修会(経営委員会主催)

5. 広報委員会

- (1) 理事長・園長会議及び理事長・園長全体研修会
(経営委員会主催)
令和6年度園児募集日程等について(入園案内ポスター他)
- (2) 令和7年度園児募集広報活動について
①「リビングかごしま」募集
記事掲載(私立幼稚園・認定こども園紹介・園児募集)
②DX委員会の開催
(第1回令和6年6月13日(木)・第2回令和6年8月7日(水)開催)
HPリニューアル・インスタ
グラムの立ち上げ等
- (3) 第18回「鹿児島市私立幼稚園・認定こども園フェスタ」の開催
令和6年9月7日(土)
山形屋2号館文化ホール6階
来場者841名
フェスタ反省会
令和6年11月15日(金)に開催
(支部長 橋口 孝志)

支部



南薩支部

今年度の南薩支部の活動としては、まず6月に第1回園長主任会を開催し研修活動計画や夏季研修会について協議しました。8月には假屋崎明彦先生をお招きし、ハイブリッド形式でキャリアアップ研修を行いました。11月には第2回園長主任会を開催し夏季研修の反省や冬季研修について協議しました。来月2月1日には冬季研修会『防犯と救急についての研修会』を指宿警察署及び南九州消防署の協力のもと開催予定です。3月には第3回園長主任会の開催を予定しており、内容は令和6年度の研修活動についての反省や、次年度の研修等の担当について協議です。今後も南薩12園の連携を深めながら支部活動を盛り上げてまいります。

(支部長 池水 大地)

西薩支部

西薩支部は、令和6年5月29日に開催した総会において支部長興水基(阿久根めぐみこども園)、副支部長井上弘顕(くしきの森のこども園)、池田洋子(純心幼稚園)の新しい体制となりました。8月19日にはフルリモートで駒沢女子短期大学保育学科教授の猪熊弘子さんにご講演いただきました。テーマは「不適切保育」「重大事故」を防ぐことを掲げました。その2つには通底する大事なことがあり、それは組織的な対応がとれるような関係性があるかという部分とのことでした。子どもも大人も1人にしないような保育や組織のあり

方を考えていく必要があると知りました。就学前の重大事故は「くう,ねる,(水)あそぶ」で多いとのこと、覚えやすく、またリスクとベネフィットの天秤を意識しながら、危ないものを全て取り除くのではなく、必要な経験を代替できる手段がないかを考えていくことが大切だと学びました。

数年前より給食の担当者をオンラインで定期開催できており、各園の給食への取組が共有されてきていて、今後も続けていきたいと思っています。北は出水市、長島町、南は日置市までと南北に長い支部のため、打合せ等はオンラインが多くなってきていますが、その状況をうまく活かしながら支部の運営を担っていきます。令和7年度はPTAの大きな大会が西薩支部担当ということもあり、各園のPTA役員は年度で変わるところが多いですが、年度をまたいだ打合せと連携が必要になっています。

(支部長 興水 基)

大 隅 支 部

大隅支部では、3月18日に役員改選を含んだ支部総会を行い、令和6年度の活動が始まりました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を5月25日、ジャパンアスリート・トレーニングセンター大隅(曾於郡大崎町)で開催。瀬戸口裕二先生(曾於市教育支援アドバイザー)を講師としてお迎えして、「認知発達に基づく支援の在り方」と題して講演をいただき、後半の分科会では、問題提起園である鹿屋幼稚園の先生方が研究されたレポートを中心に互いに学びを深めました。同園は問題提起者の松浦茜音先生を中心に、7月の県大会第10分科会での発表にも臨まれました。その県大会は我々大隅支部が担当となり、11の分科会会場園として、会場の提供と公開保育を行い、2日目は、垂水市で行われた全体会でも一丸となって運営をサポートしました。各園の惜しみないご協力に、改めて心からの感謝を申し上げます。また「主任(主幹)研修会」は隔月奇数月、年6回開催。対面で様々なテーマに基づき学びと情報交換を重ねました。特に11月は当初の予定を変更して、映画「こどもかいぎ」の上映会を開催。子どもを主体とした保育実践を行う上での多くのヒントを得ることができたのではないかと思います。

(支部長 吉井 健)



(5月25日教師研修大会の様子)

始 良 ・ 伊 佐 支 部

令和6年度に計画していた事業は順調に行われました。今後も保育の質の向上を推進するために、教職員への研修会等を充実させていきたいと思っています。また人材不足からくる職員配置の問題や、これからの人口減少化

社会・少子高齢化における園運営の問題や課題など今後の取り組みは大切になると思います。県協会・支部が団結して情報を適切に取り入れ行動していくことがさらに重要になると感じます。

■令和6年度活動

- ① 資質向上研修会Ⅰ・資質向上研修会Ⅱの実施
始良伊佐地区教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って毎年実施。
・第1回 資質向上研修会(2/1午前)
講 演 「園における職員間の信頼関係の醸成について」
講 師 福島 豪 氏
(鹿児島国際大学福祉社会学部准教授)
担当園 認定こども園カトリック国分幼稚園
・第2回 資質向上研修会(2/1午後)
講 演 「ことばとコミュニケーションを育む～土台作りの時期にできること～」
講 師 戸高 翼 氏(九州医療科学大学臨床心理学部心理学科講師)
担当園 国分幼稚園
- ② 始良伊佐地区私立幼稚園教職員研修会(11/2開催)
会 場 国分ハウジングホール
講 演 「子育てにおける言葉の重要性」
講 師 千々岩 弘一 氏(鹿児島国際大学大学院社会学研究科教授・同福祉学部教授)
- ③ 始良伊佐地区私立幼稚園協会設置者園長会・主任会を実施
- ④ 合同就職説明会参加
県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会に参加。人材確保は依然厳しい状況である。今後も対策を検討していきたい。
- ⑤ 人材確保への対応及び園運営
人材確保については、依然解消出来ない課題となっている。職員配置の状況によっては、園児の受入れの制限や利用定員を減らすことで対処する状況もある。
- ⑥ その他の活動
始良伊佐地区PTA連合大会開催及びPTA理事会(年4回)
国会議員時局講演会参加

(支部長 若松 忠洋)

熊 毛 ・ 大 島 支 部

種子島・屋久島・徳之島の3つの離島からなる熊毛・大島支部では、全11園を会して交流や研修会を行うことが出来ない現状があります。熊毛地区においては、種子島6園・屋久島3園の9園でジェットフォイルトッピーの運行時間を見ながら教職員研修大会を計画しなければなりません。今年度は、6月1日に屋久島安房公民館において、新型コロナウイルスが5類に移行してから、6年ぶりに2年に1度の宿泊研修会が行われました。研修では、昼の部として「子どもの健康な心と身体を育む食育を考える」のテーマのもと、発表園を中心に各園事例を発表し、助言者の山口幸彦氏に指導助言をして頂き学びを深めることが出来ました。夜の部は研修者全員で食事をしながらゲームをしたり、日頃聞けないことを質問したりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。2回目の研修会は、2月18日に行う予定です。子どもたちの未来や育ちに関して研修を積み重ねていますが、少子化の波は大きく、最盛期の1/3から1/4に園児は減少しています。離島であるが故に働き方の見直し、新しい事業の展開なども視野に入れて運営を考えていく時期に来ているのかも知れません。現在は、放課後児童クラブを開設し0歳から12歳までの幼児児童を保育している園も増えてきました。これからも知恵を出し合い熊毛・大島の魅力を活かしながら取り組んで行こうと思います。協力してくださっている支部の先生方ありがとうございます。

(支部長 石田尾 雄二)

令和7年度の主な行事（予定）

行 事 名	期 日	場 所	行 事 名	期 日	場 所
第1回 若手教員スキルアップ研修会	4／3（木）	マリnpパレス か ご し ま	かごしまのようちえん 就活応援フェア	8／8（金）	セ ン テ ラ ス ホ ー ル
県私幼協会・県PTA連合会 監事監査	4／11（金）	協 会 事 務 局	第16回幼児教育実践学会	8／19（火） 8／20（水）	東京家政大学 板橋キャンパス
（一社）県私幼協会理事会	4／16（水）	未 定	全日私幼連九州地区会 第13回自治体・役員交流研修会 鹿児島大会	8／21（木） 8／22（金）	ホテルマイステイズ 鹿児島天文館
県PTA連合会指導者研修会	5／8（木）	鹿 児 島 サンロイヤルホテル	設置者・園長研修大会 （県私幼）	8／28（木）	国際交流センター シェラトン鹿児島
（一社）県私幼協会総会 （一社）県私幼退職金基金社団総会	5／12（月）	未 定	第1回マネジメント研修会	10／21（火）	マリnpパレス か ご し ま
県PTA連合会総会	5／29（木）	勤 労 者 交流センター	令和7年度保育教諭等研修会	11／10（月）	マリnpパレス か ご し ま
県主任等研修会	6／20（金）	マリnpパレス か ご し ま	第47回鹿児島県私立幼稚園 PTA連合大会（西薩支部）	未 定	未 定
第64回鹿児島県私立幼稚園 教職員研修大会鹿児島大会	7／22（火） 7／23（水）	鹿児島市11幼稚園等 鹿児島サンロイヤルホテル	第2回 若手教員スキルアップ研修会	12／26（金）	マリnpパレス か ご し ま
土曜日講座	8／2（土）	オ ン ラ イ ン	第29回 幼稚園等教育改善研究会	1／23（金）	未 定
第26回 乳幼児教育・保育実践講座	8／6（水）	マリnpパレス か ご し ま	第2回マネジメント研修会	2／6（金）	未 定
全日私幼連九州地区会 第41回教師研修大会福岡大会	8／7（木） 8／8（金）	福 岡 国 際 会 議 場 ほ か	特別支援教育 スキルアップ研修会	未 定	未 定

※上記の研修会等はあくまで予定であり、変更になる場合がございますのでご容赦ください。

令和7年度

第64回鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会鹿児島大会 実施要項（案）

大会テーマ「一人ひとりの『こどもがまんなか』をまもる質の高い幼児教育を」（2年次）
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

〔日 程〕

第1日目 7月22日（火）【分科会：鹿児島市内11幼稚園・認定こども園】

9:30	10:00	11:30	11:45	12:45	15:35	15:45
受付	公開保育 会場園見学	開会 行事	昼食	問題提起・分科会 （中間に休息・後半に指導助言）	閉会行事 諸連絡	解散

第2日目 7月23日（水）【全体会：鹿児島サンロイヤルホテル】
鹿児島市与次郎1-8-10 TEL 099-253-2020

9:00	9:30	10:00	10:45	11:00	12:30	12:45
受付	特別 出演	開会式	準備	講 演	閉会式	解散